

環境

20160709 言語教育文化研究会
さいとう さとみ

教室で勉強したことと違う！

つながりを可視化する試み

- ・某専門学校の日本語の授業担当して、よく聞いた声がコレ
 - ・違うって、なにが？ 普段の生活で使わない、使われていないって？ という声におどろいた
 - ・そこで、生活の中で学習した文型文法に(偶然)出会ったら状況文脈ごと報告する、という活動を実施
 - ・結果、実は「教室で勉強したこと」は身の回りによくあることばだということ、「違う！」というのは、状況文脈が読み取られず、意味付けがされていないから、教室で勉強したアレがコレのことだと気づかれていないことによるものとわかった
- <http://www.nkg.or.jp/kenkyu/Forumhoukoku/saito.pdf>

脱学習

清水博

- ・教室で「型 form」を習ったところで、それは目の前の状況とつながらなければ、意味がないコトバだということがこの実践でわかった
- ・これが2004年

「脱学習」清水博(1996)『生命知としての場の論理—柳生新陰流に見る共創の理—』中央公論社

- ・無限定な環境で生きていくためには、判断や行動の自由自在性を確保しなければならない。
- ・ある個別的な関係性の中で学んだことを、一般的な関係の中で使えるように、その知識の質を高めることが必要。
- ・本来目指すべきは時々刻々と変化している状況、普遍的文脈のなかで知識を使えるようにすること。
- ・学習したときのある限定的な状況・パターンから脱していくこと。

「場Ba」野中郁二郎・紺野登(1999)『知識経営のすすめ—ナレッジマネジメントとその時代—』筑摩書房

- ・知識はいつでも正しいとは限らない。日々の行動や環境変化に際して自分自身の知識を照らし合わせ、実践を通じてその知識が「真」であるように高めていくのだが、それには終わりが無い。
 - ・「真」であるように高めていく、「質を高める」とは、その知識をなおざりのものにとどめず、普遍性を持つものとなるよう更新していくということである。
-

場 Ba

野中郁次郎

脱学習が起こるところがBa

出来ない・入らない

話すべき言葉が決められている情況

にほんごのたび ver 1.0

- ・2013年、あるクラスの問題、関わった教員全員が「出来ない・入らない」と嘆いてお手上げ
 - ・「出来ないって、何が？入らないって何が？」
 - ・教室の決まりごとに従えるかどうか、正答がある質問に答えさせられること、謎の山田さんとマイクさんの会話を完成させなければならないこと、コードをインプットして、謎文脈に入れ込むことをする教室
 - ・言語をコードとして扱い、評価が行われている
 - ・この評価で出来る出来ないが判断されるシステム(実は教室だけじゃなくて社会がそうなる)
 - ・言語形式を段階的にシステムティックに「きちんと正しく積み上げる」ために、予定不調和のものを極力排除している__システムティックに固定化された環境
 - ・このシステムの判断基準で「出来ない・入らない＝落ちこぼれ」と言われた人たちのコトバは？
 - ・「にほんごのたび」を実施、自分たちで旅を企画、旅をして、旅を振り返る活動を実施
 - ・テformとかより先にまず、言いたいこと聞きたいことやり取りしたいことがあって、その情況文脈における意味づけがあって、いわば、生きた言葉が創発されていくようすが分かる
- (2014年度 日本語教育学会春季大会予稿集)

Q
ことば
って？

A
{ _____ }

- ・たび__何の強制性もないところで、状況のなかでことばを駆使し、意味をつなげ、やりとりする、ことが起こる
- ・わたしたちのことばのやりとりは、コード__デコード、じゃない
- ・状況のなかで意味づけが起こっている

ネクタイ_____ので結び直した

「あゝあゝあゝーっ!!! ○○○○ーーーー!!!!」

- ・語彙クイズ_このブランクに入る語彙は？
- ・正解は「ねじれた」_しかし、そもそも、ねじれた時、結び直すか？
- ・「_____がねじれる・ねじれている」_一斉に辞書アプリを開くクラス参加者
例文を読み上げる人、しきりにスクロールする人
- ・コレ、と床からねじれたケーブルを持ち上げてみせると、全員が「？」
- ・ケーブルを手にしたまま、「中国のこういうパン、あるでしょう？」

辞書の例文はこれです

化石ことば

にほんごのたび ver 2.0

- ・「でも、辞書の例文はこれです」という発言、だから答えはこれだ、と言いたいらしい。
- ・例文は理解のためにあるのだろうけど、その理解は、何を理解しているのか、
- ・例文とちがう文脈に埋め込まれていた時、理解されない語の意味
- ・にほんごのたび ver.2.0は、辞書から離れていく旅、2016年夏に予定
- ・イマ・ココの状況をたびすること、辞書ではなく、状況の中で状況と意味づけをする旅

Q
ことば
って？

A

{ _____ }

- ・ことばって何？
- ・意味は辞書の中にある？ イマ・ココでの意味付けは？
- ・意味付けの必要条件は？

Sprachspiel

「講義」の意味を知らせるときに起こったこと

意味を知らせるとは、なんだろう

Equilibre

あらゆる状況は動態

刻々と変化する目の前の状況、そこに埋め込まれた状況で「型」を習得しただけではどうにもならない

<https://dl.dropboxusercontent.com/u/12166972/ne110-waseda-saito-satomi-20151003.pdf>

